

残波岬付近における流況調査報告

平成 18 年 8 月 21, 22 日の高低潮の差が大きい時期に、残波ビーチ付近海域において流況調査を実施した。観測方法は、礁外においては測量船搭載の超音波流速計 (ADCP) による流向・流速の観測、礁内においては DGPS ブイによる漂流観測を実施した。

1 . 観測海域

観測海域図に示すとおり

2 . 使用した船舶又は航空機の種別又は名称

測量船「おきしお」及び搭載艇

3 . ADCP 観測結果

8 月 21 日及び 22 日に、それぞれ上げ潮時及び下げ潮時に観測を実施した。結果を第 1 図に示す。

両日とも下げ潮時においては、沿岸に沿うように北流から東流への流れが観測された。最大流速は 22 日下げ潮時において沖合で 1.4kn に達した。

両日とも上げ潮時においては、リーフ北方の沖合では下げ潮時と同様の東流が観測されたが、リーフ北方の沿岸付近では沖側とは逆方向の西流が観測された。これは、観測された時間帯が、転流を迎える時間帯に当たったためと推察され、沖合に観測された東流も、時間が経過すれば流向が反転しリーフ近くの流向と同様に西流になると推察する。また、リーフ西方では沖合及び沿岸付近では顕著な流れは観測されなかった。

4 . 漂流観測結果

8 月 21 日及び 22 日に、それぞれ低潮前の下げ潮時及び低潮後の上げ潮時に観測を実施した。結果を第 2 図に示す。観測中の風は、期間を通じて東よりの風 5m/s 前後であった。

両日とも上げ潮時及び下げ潮時において、殆どが東から西への弱い漂流経路を観測したが、これは主に風による影響を受けていると思われる、顕著な流れは認められなかった。しかし、22 日の上げ潮時に観測海域南側にある小さなリーフギャップ付近においては、海水の流入によると思われる約 0.2kn の流れが観測された。

5 . まとめ

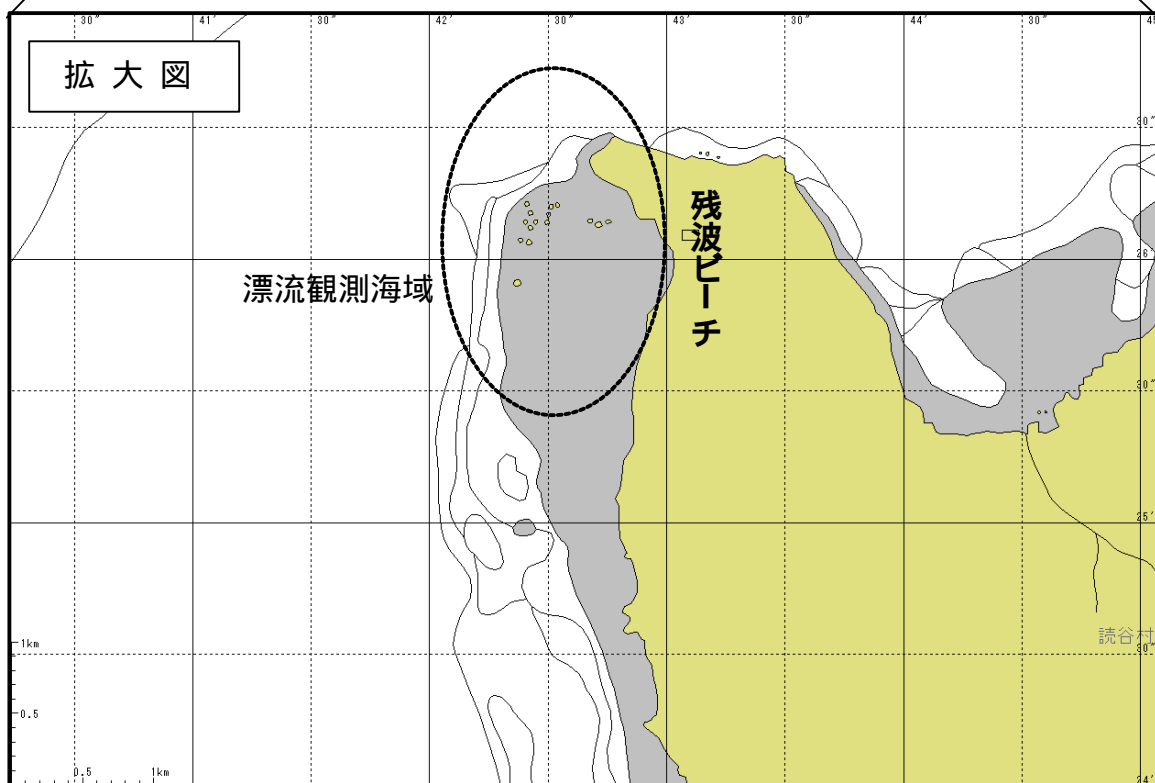
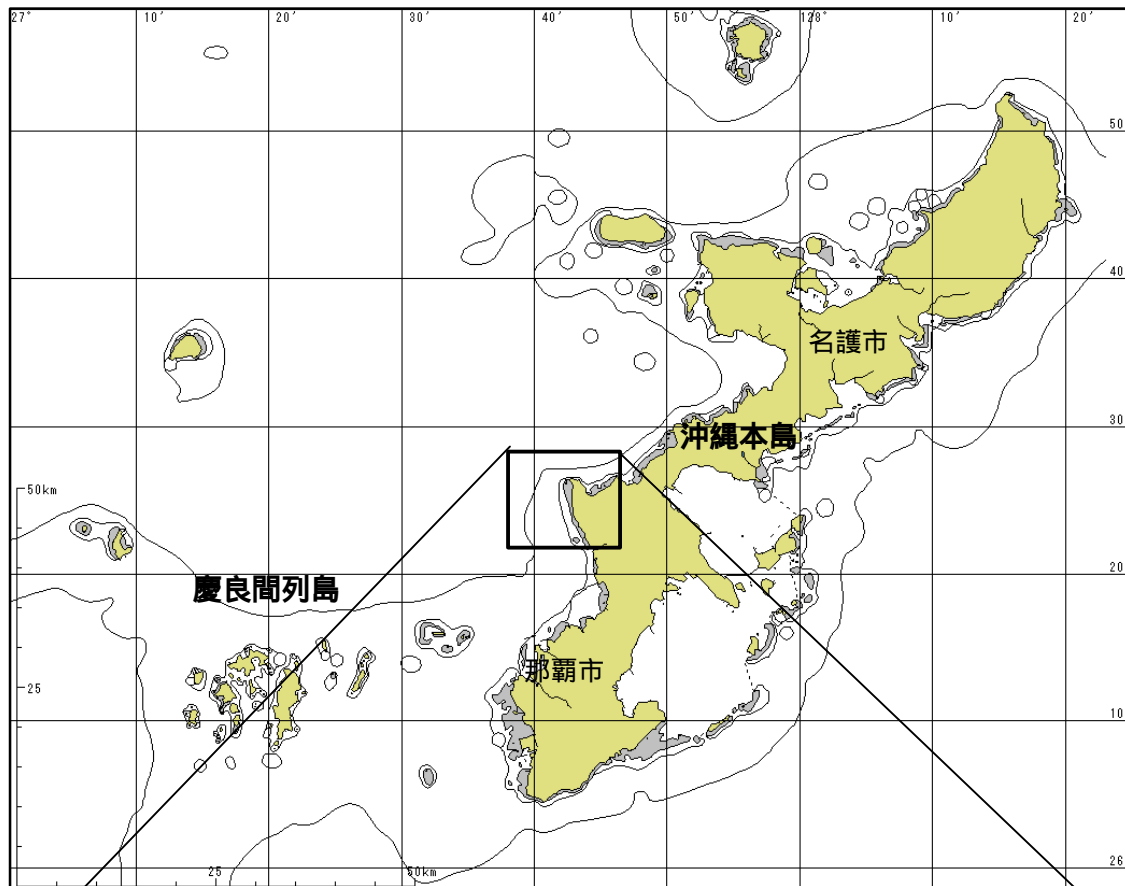
残波ビーチは、付近に大型のリゾートホテルを抱え、多数のマリンスポーツやマリンレジャーが用意され、毎年非常に多くのレジャー客で賑わう、沖縄本島においても代表的な美しいビーチである。

今回の礁内における漂流観測では、上げ潮時及び下げ潮時ともに、主に風の影響を受けていると思われる弱い流れが観測され、マリンレジャーに危険を及ぼす強い流れは観測されなかった。しかしながら、ビーチから離れた礁内の海域では、海水の流入及び流出によるリーフカレントと思われる南北方向への強い流れがあるとの現地情報もある。今回はそのような流れは観測されなかったが、リーフカレントは、気象・海象の影響を受けて大きく変化する

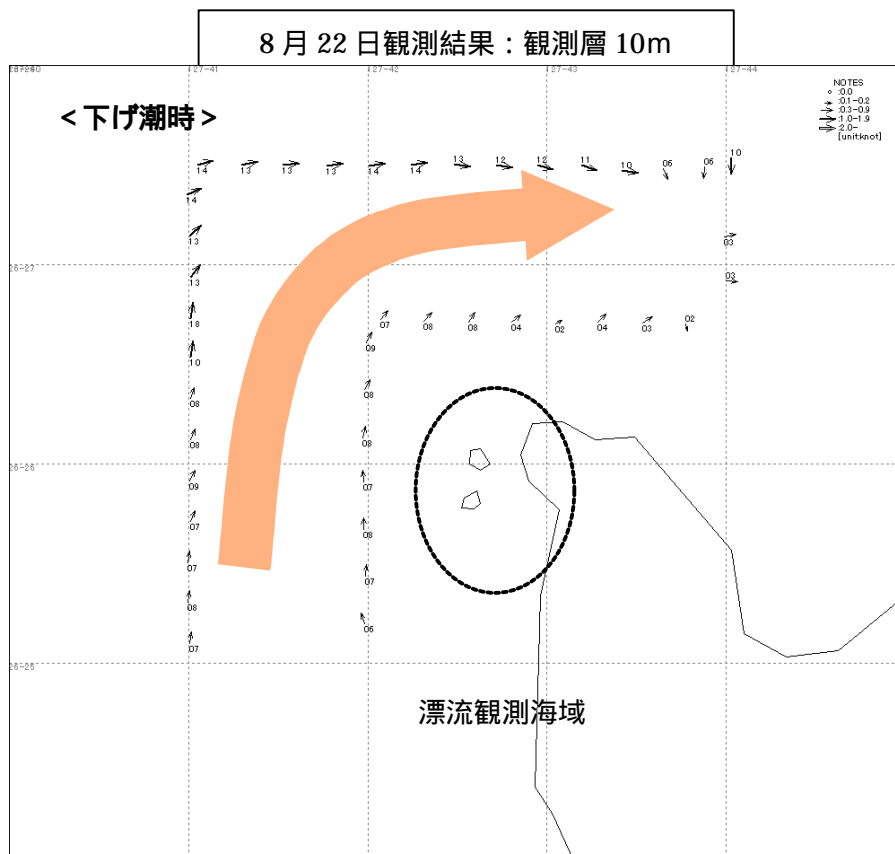
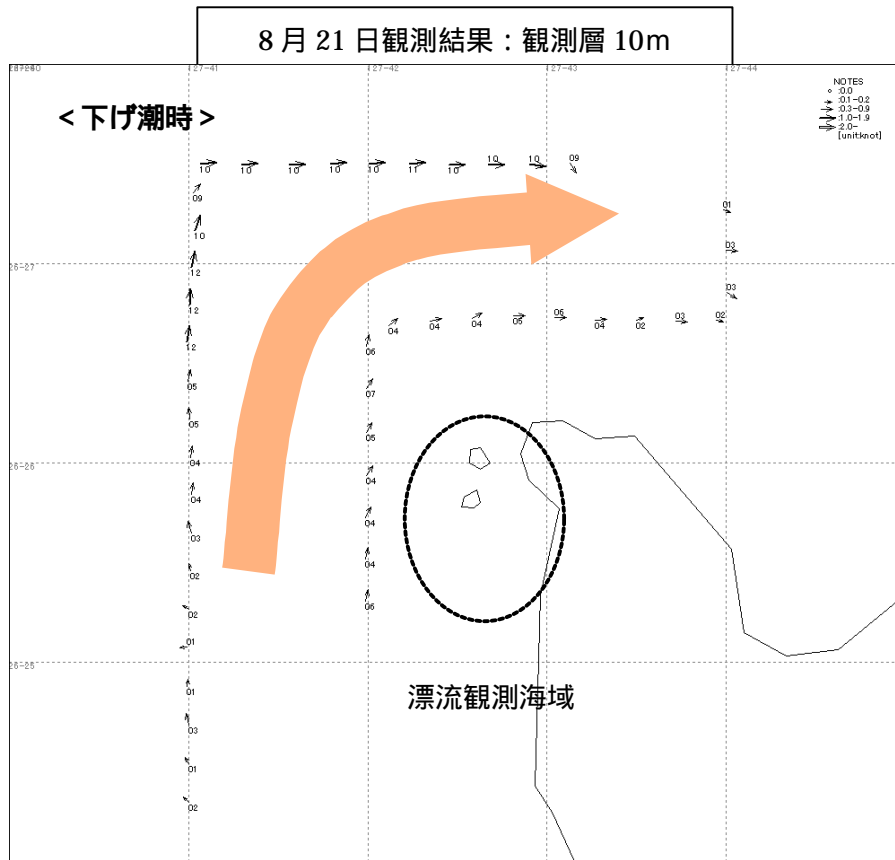
ことがあるため、事前に気象・海象の情報をよく収集することが安全なマリトレジャーに繋がると言える。

また、ダイビングスポットとして利用されるリーフに沿った外洋側においては、ADCP 観測により約 1kn の速い潮流が観測されていることから、礁外におけるマリ活動はより一層の注意が必要とされる。

観測海域図

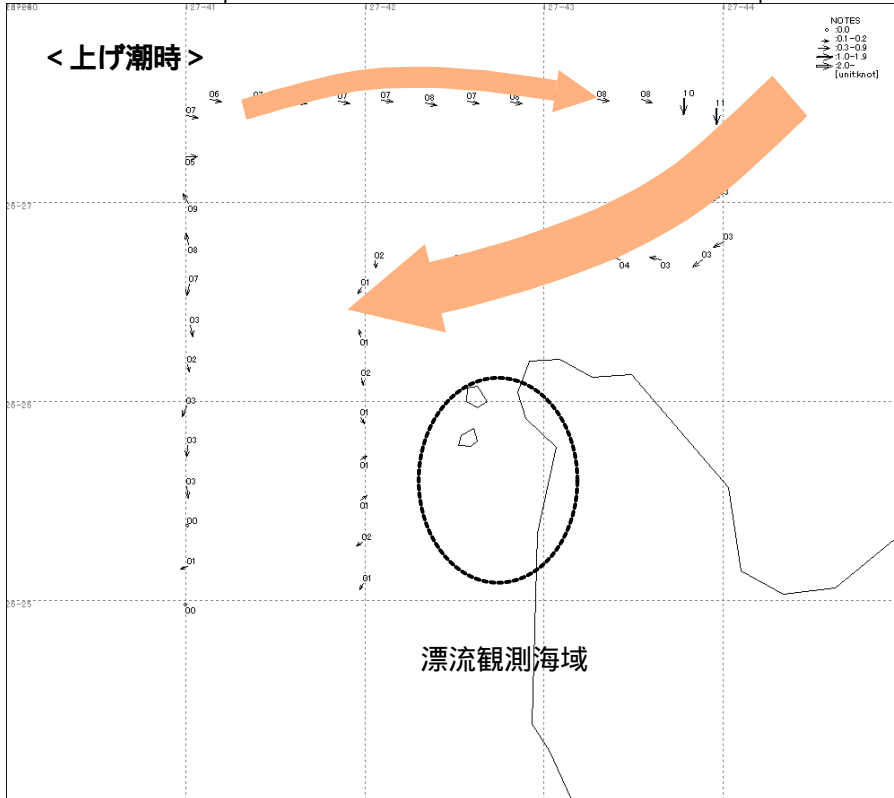


ADCP 観測結果 (8 月 21 日及び 22 日観測)

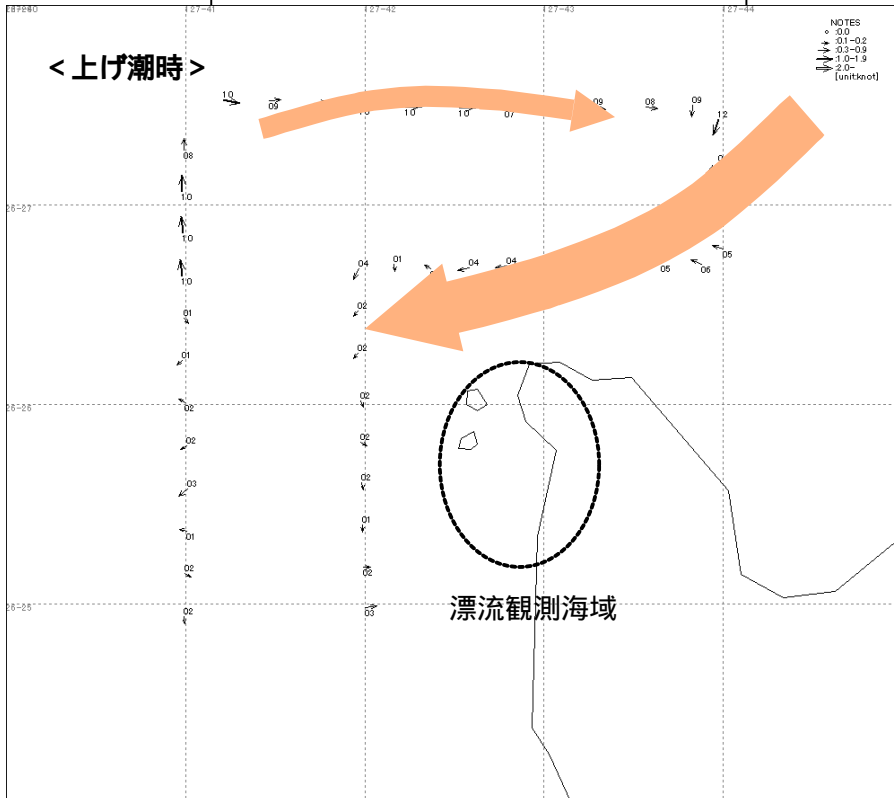


ADCP 観測結果 (8月21日及び22日観測)

8月21日観測結果：観測層 10m

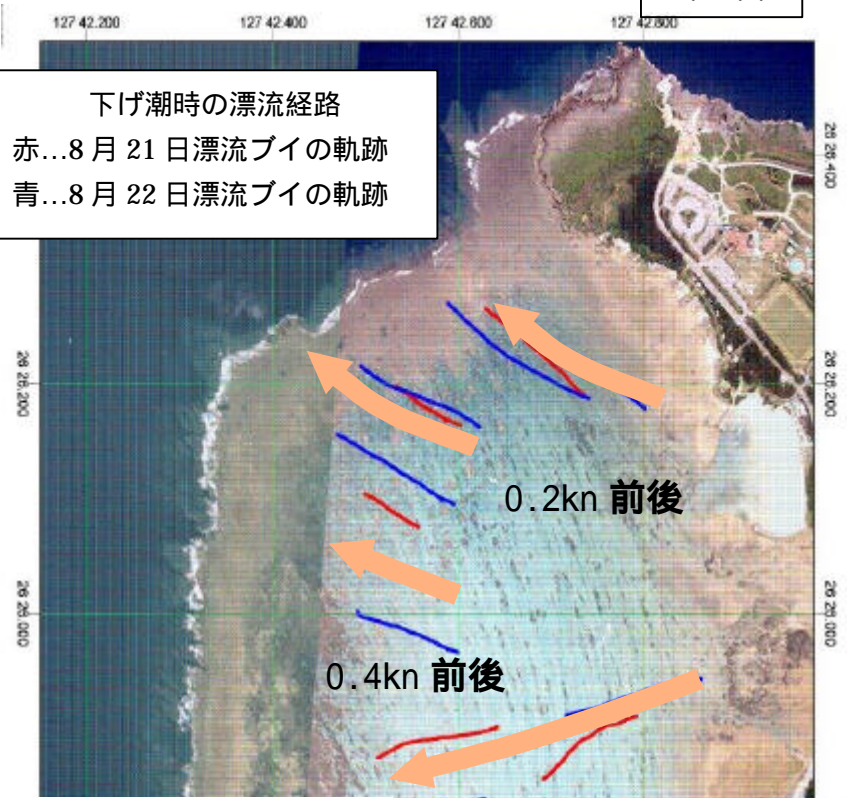


8月22日観測結果：観測層 10m

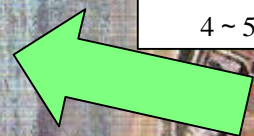


漂流観測結果
(8月21日、22日観測)

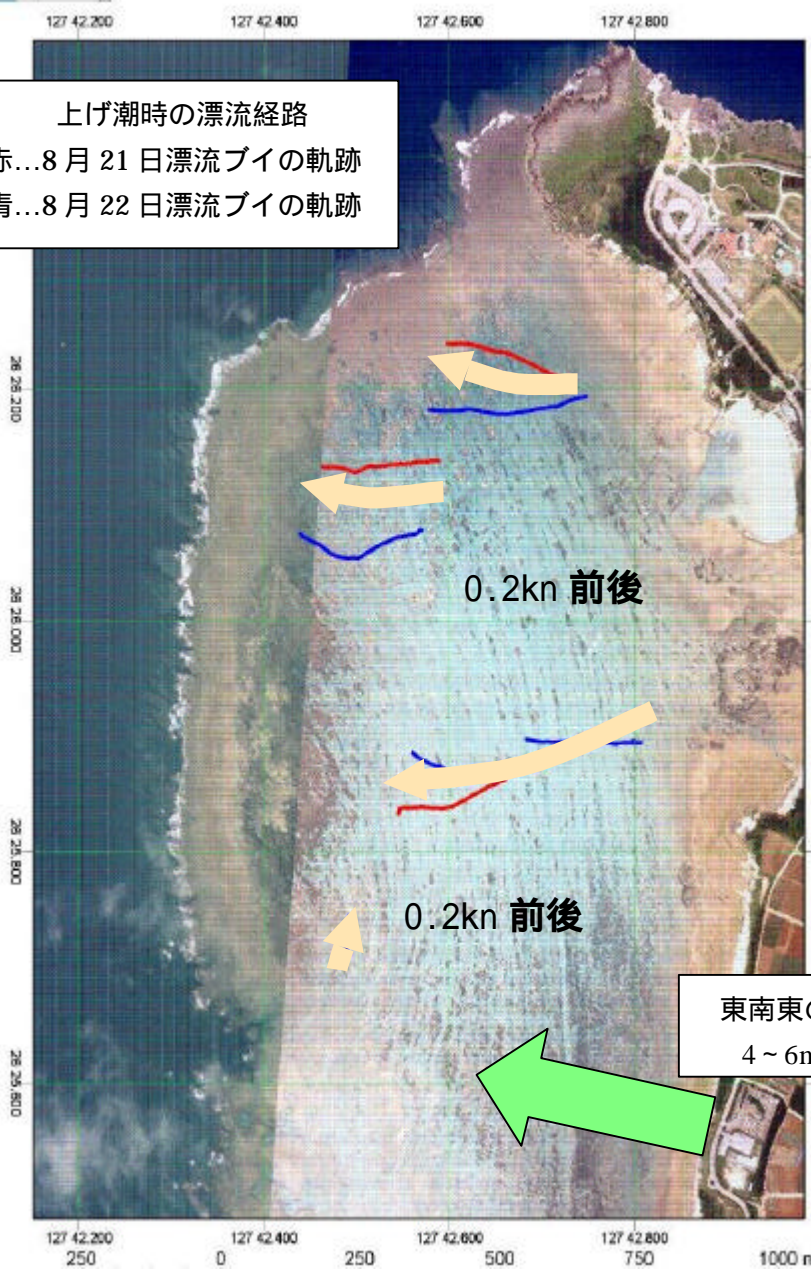
下げ潮時の漂流経路
赤...8月21日漂流ブイの軌跡
青...8月22日漂流ブイの軌跡



東南東の風
4~5m/s



上げ潮時の漂流経路
赤...8月21日漂流ブイの軌跡
青...8月22日漂流ブイの軌跡



東南東の風
4~6m/s

